

令和 3年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 行政・デジタル改革課

担当名: DX推進担当

内線: 2442

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B10	A I 活用による県民サービス推進事業			一般会計	総務費	総務管理費	人事管理費	行政改革推進費		
事業期間	令和元年度～	根拠法令	なし				宣言項目		SDGsゴール 9	
							分野施策	061351 ICTを活用した県民の利便性の向上	SDGsターゲット 9-1	
1 事業概要 最新のA I 技術を活用し、時間帯や言語に関わらず、気軽かつスピーディーに行政情報にアクセスできるシステムの導入により、新たな行政サービスを実現するとともに、県民サービスの更なる向上を図る。				5 事業説明						
(1) 埼玉コンシェルジュ推進事業 会議室未使用等による減 $\Delta 155$ 千円				(1) 事業内容 ア 埼玉コンシェルジュ推進事業 $30,336$ 千円 A I 技術を活用した県民向け問合せ自動応答システム(埼玉コンシェルジュ)の運用・改修等により、県民サービスの向上を図る。						
(2) 音声翻訳システムの導入 オリパラ事業見直し等による減 $\Delta 3,169$ 千円				イ 自動翻訳システムの導入 $6,162$ 千円 A I 技術を活用した自動翻訳システムの導入により、行政サービスや生産性の向上を図る。						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)				(2) 事業計画 ア 埼玉コンシェルジュの運用、業務拡大を行うとともに、更なる県民サービスの向上のため、市町村チャットボットとの連携を実施する。						
3 地方財政措置の状況 なし				イ タブレット端末・専用アプリをオリパラ都市ボランティアや地域機関等に導入する。						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 $9,500$ 千円 $\times 2$ 人 $= 19,000$ 千円				(3) 事業効果 ア スマートフォンやタブレットから、いつでもどこでも問合せできる環境を提供することに加え、市町村チャットボットとの連携により、問合せのワンストップ化が可能となる。						
				イ 円滑で迅速な対応による県民サービス向上や専門家の代替によるコスト削減、職員の負担軽減等につながる。						
				(4) 補正予算の概要 ア 会議室未使用等による減額						
				イ オリパラ事業見直し等による減額						
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
決定額	$\Delta 3,324$							$\Delta 3,324$	$33,174$	
現計額	$36,498$							$36,498$		